

学 校 案 内

(令和7年度入学生用)



校 訓
誠 実
思 索
実 践



和歌山市立和歌山高等学校定時制

TEL 073-461-3691 FAX 073-461-4038
URL <https://www.wakayama-wky.ed.jp/ichiko-teijisei/>

ビジネス実践科の特色

商業における4分野のうち、会計分野とビジネス経済分野の学習を柱に、思考力や判断力等を養い、ビジネスの諸活動に取り組むための基礎・基本の習得を目指します。

ビジネス実践科

教育課程表

令和7年度入学生用

学 科		標準 単位数	ビジネス実践科				履修 単位数	備考	
			1年	2年	3年	4年		教科別履 修単位数	選択上の留意点等
学 年									
国 語	現 代 の 国 語	2	2				2	10②	※印は学校設定科目
	言 語 文 化	2		2			2		
	文 学 国 語	4			4		4		
	国 語 基 礎 ※	2	②						
	実 用 国 語 ※	2				2	2		
歴地理 史	地 理 総 合	2		2			2	5	
	歴 史 総 合	2			3		3		
公 民	公 共	2	2				2	4②	○囲みの数字は0限 授業の単位数。
	政 治 ・ 経 済	2		②		2	2		
数 学	数 学 I	3	3				3	5②	【学校外の学修単位】 下記に記載の単位 修得をのべ4単位ま で認める。
	数 学 A	2		2			2		
	数 学 B	2			②				
理 科	科学と人間生活	2	2				2	6	「各種検定試験及 び技能審査合格者 に対する単位修得認定 規則」に従い、条件 を満たした場合、対 応する「スキルアッ プ(教科名)」の単 位として認定する。 三修制は、「実務代 替(ビジネス基礎)、 または高等学校卒業 程度認定試験合格科 目、または通信制高 等学校における修得 科目を単位として認 定する。
	生 物 基 礎	2			2		2		
	化 学 基 礎	2				2	2		
保 育 健 体	体 育	7~8	3	2	2	1	8	10	
	保 健	2	1	1			2		
美 術	美 術 I	2			2		2	2	
外 国 語	英語コミュニケーションI	3	2	2			4	6	
	論 理 ・ 表 現 I	2				2	2		
家 庭 基 礎	家 庭 基 礎	2		2			2	2	
普 通 科 目 合 計			15②	13②	13②	9	50	50⑥	
商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2~4	2				2	26⑨	
	課 題 研 究	2~4			③	3	3		
	総 合 実 践	2~4			2		2		
	マ ー ケ テ ィ ン グ	2~4		2			2		
	ビ ジ ネ ス ・ マ ネ ジ メ ン ト	2~4		③					
	ビ ジ ネ ス 法 規	2~4				3	3		
	簿 記	2~4	2	2			4		
	財 務 会 計 I	2~4				2	2		
	情 報 処 理	2~4		2	2		4		
	ソ フ ト ウ ェ ア 活 用	2~4				2	2		
	簿 記 探 究 ※				2		2		
	広 告 と 販 売 促 進 ※		③						
専 門 科 目 合 計			4③	6③	6③	10	26	26⑨	
合 計			19⑤	19⑤	19⑤	19	76⑮	76⑮	
総 合 的 な 探 究 の 時 間			0	0	0	0	0	0	
ホ ー ム ル ー ム 活 動			1	1	1	1	4	4	
総 合 計			20⑤	20⑤	20⑤	20	80⑮	80⑮	

ビジネス情報科の特色

商業における4分野のうち、ビジネス情報分野とマーケティング分野の学習を柱に、社会のニーズに即応した専門技術の習得に努め、実務に役立つ基礎・基本技能の習得を目指します。

ビジネス情報科

教育課程表

令和7年度入学生用

学 科		標準 単位数	ビジネス情報科				履修 単位数	教科別履 修単位数	備考
			1年	2年	3年	4年			
国 語	現 代 の 国 語	2	2				2	10②	※印は学校設定科目
	言 語 文 化	2		2			2		
	文 学 国 語	4			4		4		
	国 語 基 礎 ※	2	②						
	実 用 国 語 ※	2				2	2		
歴 史 地 理	地 理 総 合	2		2			2	5	
	歴 史 総 合	2			3		3		
公 民	公 治 政 治 ・ 経 済	2	2				2	4②	○囲みの数字は0限 授業の単位数。
		2		②		2	2		
数 学	数 学 I	3	3				3	5②	【学校外の学修単位】 下記に記載の単位 修得をのべ4単位ま で認める。
	数 学 A	2		2			2		
	数 学 B	2			②				
理 科	科 学 と 人 間 生 活	2	2				2	6	
	生 物 基 礎	2			2		2		
	化 学 基 礎	2				2	2		
保 健 体 育	体 育	7~8	3	2	2	1	8	10	「各種検定試験及 び技能審査合格者 に対する単位修得認定 規則」に従い、条件 を満たした場合、対 応する「スキルアッ プ(教科名)」の単 位として認定する。
	保 健	2	1	1			2		
美 術	美 術 I	2			2		2	2	三修制は、「実務代 替」(ビジネス基礎)、 または高等学校卒業 程度認定試験合格科 目、または通信制高 等学校における修得 科目を単位として認 定する。
	英 語 コミュニケーションI	3	2	2			4		
	論 理 ・ 表 現 I	2				2	2		
外 国 語 鑑 賞	家 庭 基 礎	2		2			2	2	
普 通 科 目 合 計			15②	13②	13②	9	50	50⑥	
商 業	ビ ジ ネ ス 基 礎	2~4	2				2	26⑨	
	課 題 研 究	2~4			③	3	3		
	マ ー ケ テ ィ ン グ	2~4		2			2		
	商 品 開 発 と 流 通	2~4			2		2		
	簿 記	2~4		2			2		
	情 報 処 理	2~4	2	2			4		
	ソ フ ト ウ ェ ア 活 用	2~4			2		2		
	ネ ッ ト ワ ー ク 活 用	2~4		③					
	ビ ジ ネ ス 法 規	2~4				3	3		
	文 書 処 理 ※					2	2		
	ビ ジ ネ ス 情 報 ※				2		2		
ソ フ ト ウ ェ ア 探 究 ※					2	2			
広 告 と 販 売 促 進 ※		③							
専 門 科 目 合 計			4③	6③	6③	10	26	26⑨	
合 計			19⑤	19⑤	19⑤	19	76⑮	76⑮	
総 合 的 な 探 究 の 時 間			0	0	0	0	0	0	
ホ ー ム ル ー ム 活 動			1	1	1	1	4	4	
総 合 計			20⑤	20⑤	20⑤	20	80⑮	80⑮	

こんな学校です

一人ひとりの人づくりを大切に、
心豊かな社会人を育成。

● **3年間で卒業する三修制も選べます。**
(卒業に必要な単位を修得すれば3年間で卒業できます)

● **毎日4時間授業です。**
(三修制の場合は毎日5時間授業です)

● **各種の検定資格取得を目指します。**
(情報処理・ワープロ・簿記検定など)

● **楽しい学校行事がたくさんあります。**

新入生歓迎行事(5月)・観月会(9月)・遠足(10月)・予餞会〔ボウリング大会〕(2月)など

● **日課表は以下のとおりです。**

0限(16:50~17:35)	2限(18:35~19:20)
SHR(17:35~17:40)	3限(19:25~20:10)
1限(17:40~18:25)	4限(20:15~21:00)
給食・休憩(18:25~18:35)	

スクールポリシー

【ビジネス実践科】

○アドミッション・ポリシー(求める生徒像)

- (1) 勤労と勉学を両立させようとする強い意志を持ち、将来ビジネス社会で活躍できる基本知識を得ようと積極的に取り組む生徒。
- (2) 規律ある生活ができ、自ら積極的に学習に取り組む生徒。

○カリキュラム・ポリシー(教育課程や教育の方針)

- (1) 教育目標に掲げる知識・技能を修得させるために必修教科科目、簿記・会計分野を中心とした専門科目、その他必要とする選択科目を体系的に編成し、将来の就業に関する基礎的知識・技能を修得するための講義、演習、実習等を適切に組み合わせた学習を進める。
- (2) 商業科目に関連する検定試験に積極的にチャレンジし、学年が進行するにあたりスキルアップを図る。

○グラデュエーション・ポリシー(卒業時に身につける力等)

- (1) 会計分野とビジネス経済分野の学習を柱に、思考力や判断力等を備えた生徒の育成を目指します。
- (2) 「知」「徳」「体」のバランスの取れた人材の育成を目指します。
- (3) 「確かな学力」を備え、地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。

【ビジネス情報科】

○アドミッション・ポリシー(求める生徒像)

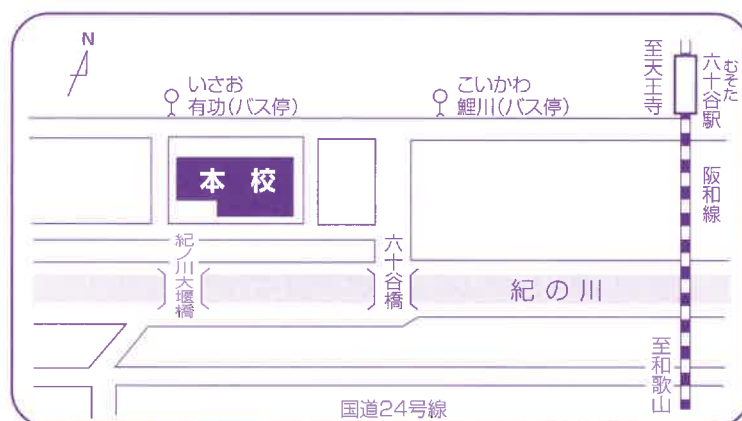
- (1) 勤労と勉学を両立させようとする強い意志を持ち、コンピュータ等のビジネス学習に興味を持つ生徒。
- (2) 規律ある生活ができ、自ら積極的に学習に取り組む生徒。

○カリキュラム・ポリシー(教育課程や教育の方針)

- (1) 教育目標に掲げる知識・技能を修得させるために必修教科科目、コンピュータを中心とした専門科目、その他必要とする選択科目を体系的に編成し、将来の就業に関する基礎的知識・技能を修得するための講義、演習、実習等を適切に組み合わせた教育を行います。
- (2) 商業科目に関連する検定試験に積極的にチャレンジし、学年が進行するにあたりスキルアップを図る。

○グラデュエーション・ポリシー(卒業時に身につける力等)

- (1) ビジネス経済、マーケティング分野及び情報処理分野の学習を柱に、社会のニーズに即応した専門技術の修得と、実務に役立つ基礎・基本技能を修得した人材の育成を目指します。
- (2) 「知」「徳」「体」のバランスの取れた人材の育成を目指します。
- (3) 「確かな学力」を備え、地域社会で活躍できる人材の育成を目指します。



本校定時制東門までは
阪和線六十谷駅下車西へ徒歩約十五分
和歌山バス鯉川下車西へ徒歩約五分